

町民憲章 The townsman charter

国賀の雄大な自然と豊かな海の資源は西ノ島の誇りです。私たちは、この美しいふるさとに生きることをよここび、平和で明るい町づくりをめざし、この憲章を定めます。(昭和62年11月3日制定)

- 1.美しい自然と歴史を大切に**文化の香りに満ちた町**をつくりましょう
- 1.明るく仲よく助け合い心身ともに健やかで**生きがいに満ちた町**をつくりましょう
- 1.清新な気概とたくましい創造力をもって産業をおこし**豊かさに満ちた町**をつくりましょう

位置、地勢

島根半島から北東へ約65km、日本海に浮かぶ隠岐諸島は大小180余りの島々から成り立つ群島型離島です。この中で人が住む島は西ノ島(にしのみま:西ノ島町)、中ノ島(なかのみま:海士町)、知夫里島(ちぶりじま:知夫村)、島後(どうご:隠岐の島町)の4つで、島後に対して西ノ島、中ノ島、知夫里島の3つをあわせて、島前(どうぜん)と呼び、大きく2群島に整理することができます。

西ノ島町は島前の3島のうち西ノ島を占め、1つの島で1つの町を形成しています。

気 候

西ノ島町は、対馬暖流の影響を受けて、日間気温差は比較的少なく、年間平均気温は14.0度と比較的温暖で降水量は年間総雨量1750ミリ、最大積雪量は22センチと山陰地方では極端に少なくなっています。

冬期は北西の季節風が強くなり、200~300mの山脈を背に内湾に面する大部分の集落は、しのぎやすくなっています。

通天橋(つうてんきょう)

海に大きくせり出した巨大な岩の架け橋。岩石の中央部が海蝕作用によってえぐりあげられたもので、大自然が創り出した造形の妙を見ることができます。約7kmにわたって粗面玄武岩の海蝕崖や海蝕洞が続き、国立公園に指定されている隠岐最大の景勝地、国賀海岸にある代表的な奇岩です。



町 章

西ノ島町の地形を図案化し、調和のある発展を象徴、円は町民の融和と団結をあらわす。

町の木



[黒松]

町の花



[椿]